

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	H21年度までは推進会議を年に1回しか実施しておらず、地域との交流が少なかった。	2ヶ月に1度の運営推進会議を実施し、地域と共にあるグループホームを目指す。	平成22年度は年度計画として年に6回の運営推進会議を予定。地域代表者、ご家族、利用者、職員の推進会議メンバーも決定し、第1回目の会議に向けて準備を進めている。	12ヶ月
2	10	じっくり時間を割いて活動内容やサービス計画を説明する機会がなく、ご家族の不安の解消や要望を聴くことができていなかった。	ご家族とのコミュニケーションを図り、十分な意見交換ができる機会を作りながら、ご利用者の生活をより把握していただく。	行事の写真や日常の様子を報告するお手紙を入れ、ご利用者の様子を報告するとともに、じっくりと時間をかけて報告や意見交換ができる機会を作る。	12ヶ月
3	6	生命の安全を一番に考え、玄関の施錠は、やむおえないという考えだが、それに代わるような抑圧のない生活を考えなければならない。	抑圧のない、開放的な生活が送られる。	引き続き、外出の機会を多く持ち閉じこもりにならないよう援助する。全体での外出だけでなく、個別レクリエーションとしての散歩や外出、日常でのお手伝いを通しての外出など、大小を工夫し、できるだけ多くの機会が持てるようにする。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。